

KTK 京都ライトハウス通信 第103号

編集人 鈴木紘一 / 社会福祉法人 京都ライトハウス / 〒603-8302 京都市北区紫野花ノ坊町11
 代表番号 TEL 075-462-4400 FAX 075-462-4402 / 鳥居寮 TEL 075-463-6455 / 船岡寮 TEL 075-463-4649 FAX 075-467-2788
 URL: <http://www.kyoto-lighthouse.or.jp> / E-mail: info@kyoto-lighthouse.or.jp
 郵便局振替番号 (京都ライトハウス) (運営資金寄付) 00960-5-153295 (後援会) 01090-3-9080 / 1979年(昭和54年)8月15日創刊

第23回鳥居賞、第9回鳥居伊都賞伝達式を終えて



鳥居賞 和波孝禧氏



鳥居伊都賞 青山清子氏

9月11日は、本法人と京都府視覚障害者協会(当時の京都府盲人協会)の産みの親・故鳥居篤治郎初代館長の御命日です。

今回の鳥居賞には、新京都ライトハウス建設にチャリティーコンサートなどで多大のご支援を頂戴したバイオリニストの和波孝禧氏が、鳥居伊都賞には、京都府視覚障害者協会北支部の青山清子氏が、永年にわたる夫・弘氏の社会参加を支援されたご功績に対し、それぞれ受賞されました。ここに読者の皆様方と共に、お二人の今後のご活躍とこれまでのご苦労に対し、受賞の栄誉を称えたいと存じます。本当におめでとうございませう。

以下、和波さんが受賞者を代表して挨拶された内容の一部を掲載し、当日の雰囲気の一端を皆さんにお届けしたいと思います。

『皆様今晚は、本日はこういう栄誉あるといいますが、非常に私にとっても思いの深い、鳥居先生を顕彰するこの賞を受賞させていただくことができ、本当に有難うございませう。心から御礼を申し上げます。今日、実は昼間この近くの石山高校で演奏会があったために普通のこういう式典の時間とは全く異なる、皆様お出になりにくい時間帯にわざわざずらしていただいて、私が出席できるように、色々ご配慮いただいたことにも深く感謝申し上げます。』

今年、私は60歳という節目を迎えまして、その折に

紫綬褒章をいただいたり色々なことがあって、良かったなと思っていた所、このような賞までいただくことができ、本当に私の音楽人生にとっても思い出深い年になりました。また今日はこの、完成した新しいライトハウスの建物を廻らせていただいて、その器の素晴らしさ、そしてその中で活動しておられる、たくさんのボランティアの方々、そこに集う視覚障害者の方々、素晴らしいコミュニティがここを拠点にして出来上がっているということを知りまして、改めて皆様の永年に亘るご努力に対してとても深い思いをいたしました。

そうした積み重ねのもとを作られたのが、鳥居篤治郎先生であったと思います。私は若い頃から、ヴァイオリンを演奏していたわけですが、そのことに鳥居先生は注目されて1963年に最初の京都ライトハウスのチャリティーコンサートに出演して欲しいということでお話をいただきました。私はまだ高校3年生でガキだったわけですが、実は最近屋根裏にあった点字のものを整理していた時に、昭和62年から63年にかけていただいた何通もの点字のお手紙が出てまいりました。必ずその手紙の最初には鳥居拜と書かれていて、そこにきちりとした点字で要領よく、しかも暖かい文面でコンサートの準備がどの様に進んでいるかということをお書き下さっているわけですね。私はまだ高校生でしたけれども、目下の者にもものを言うような形ではなくて、本当に

(2) 2005年(平成17年)10月21日

一人の大人として、しかも変にヘリくだったよそよそしいところもなく、とても飾らない文面で要件の一つ一つをお書き下さっていることに、改めてこういう偉い先生だったんだなあということ思い出したところでした。

そして2回目のチャリティーコンサート、1964年に、東京オリンピックが終わってすぐの時だったんですが、11月2日、これが特に私には印象深く残っています。そのころチャリティーコンサートに京都市交響楽団が出演しておりました。京都市とライトハウスがとても深い関係にあったこと、鳥居先生がオーケストラに出て欲しいと依頼されたんだと思いますけれども、前の年はオーケストラだけで演奏したんですが、この年は、私がだんだん認められてきたので、じゃあ一緒にやってやろうということになって、チャイコフスキーの協奏曲を演奏しました。これがその日のプログラムの最後を飾ったわけで、ほかには、やはりここで永年お仕事をされていた林薫夫先生のテノール独唱がピアノと一緒に、私が無伴奏の曲も演奏して最後にオーケストラと私とでチャイコフスキーを弾く、当時まだ19歳で協奏曲を演奏する機会が本当に少なかった私なので、緊張もしましたけれども、一所懸命練習をして自分なりに納得のいく演奏が出来たなど、でも最後はエキサイトしてしまってもすごくテンポが速くなってしまって、だけどちょうどその時から京都市交響楽団の指揮者になられた森正先生が伴奏することの名手といわれた指揮者だったので、練習の時よりかなり速いテンポになりましたけれども、オーケストラも見事に演奏して、非常に盛り上がり大きな拍手を頂いて終わりました。

そして翌日私はライトハウスに伺って早速そのテープを聴かせていただいて、ああ、うまく行って良かったなということではっとしまして、そのあと、ちょうどそれが11月3日だったので、嵯峨野を歩こうじゃないかということで鳥居先生、林先生などそれから私のまだ当時40代だった母も一緒に一日京都の街を歩きました。本当にこれは今思いたしても忘れられない思い出で、鳥居先生の深い凜としたお声がまだ私の耳には残っているような気がします。(中略)

そして伊都夫人も鳥居先生がお亡くなりになった後も私や母、それから妻も含めて色々といつも気にかけていただいていた。私が大阪の日本ライトハウスのチャ

京都ライトハウス通信 No.103

リティーコンサートの時に、久しぶりに母に同行してもらって大阪に来た時に、この古いライトハウスを最後にお訪ねしたのは昭和58年、その時に伊都さんが、いろいろ箏曲の若い人であるとか、何人かを集めて、私を囲む懇談会みたいなものを即席で企画して下さい、そこに、いらっしゃった元気な伊都夫人のことを今も懐かしく思い出します。「私はもし今度生まれ変わってきても、やはり盲人と結婚する道を選ぶだろう。」とおっしゃっていた。それが口癖で何度かそのことをうかがった記憶があります。それほど篤治郎先生は素晴らしいご主人だったでしょう。

そして今日はその鳥居伊都さんの業績を顕彰する鳥居伊都賞を受賞された青山さんの分まで私にご挨拶をということなんですけれども、こうして鳥居先生あるいは伊都夫人の歩んでこられた道というものを今の私達に伝えていただく、こういう賞というものの存在を、その意義をあらためて噛み締めながら、心から、私達を選んで下さったことにお礼を申し上げるとともに、今後の京都ライトハウスのご発展、そしてそこに集う視覚障害者の皆様のご発展とご健康を心からお祈りし、私自身も、今まで40年間演奏活動をやってきましたが、もうこれから40年はやれません。もう半分以上過ぎてます。それでも出来る限り音楽のため、あるいは私達の仲間のためにできることがあればやっていきたいと思っていますので、これからもご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

今日は先程申し上げたように滋賀県で演奏があったものですから、珍しくヴァイオリンを持ってきております。最後に私のお礼の気持ちと、それから天国におられる鳥居先生にたぶん音を出せば届くんじゃないかという願いも込めて1曲演奏したいと思います。

これは私がとても好きな曲でこういう時によく弾かせていただく、バッハの無伴奏ソナタの中のラルゴというちょっとお祈りみたいな曲なんですけれども、皆様のご発展、ご健康、そして今日お集まり下さった方への感謝も含めて短い曲を1曲弾かせていただこうと思います。』

ご挨拶に引き続き、会場には静かなヴァイオリンの音色が流れました。京都ライトハウス創始者・故鳥居先生ご夫妻を偲ぶ伝達式は無事終了しました。

こんな症状でお困りでないですか？

- ・引越しや増改築、白蟻駆除などをしてから気分が悪くなった
- ・家にいるとなんとなく疲れやすい 等々

3つの建材をバランスよく使った

「健やかづくり」のシステム互法

自然治癒力を高める健康な生活をご提案致します

竹炭入り **清活畳**

天然の空気清浄塗り壁材

幻の漆喰 しっくい

うづくり健康フローリング

音響熟成木材

新築やリフォームでも実感いただけます。

◇ぜひ展示室で空気を体感してみませんか？



☆まずはお気軽にお問い合わせ下さい☆

有限会社 **ケアライフシステム**
 京都市下京区中堂寺南町105
 GH五条701 (五条七本松東南角)
 TEL: 075-323-0330 FAX: 075-200-1034

<http://www.CLS0333.com>

点訳サービス・点字図書出版

有限会社 **オフィス**



視覚障害者手帳をお持ちの方は点字図書が原本価格で購入できます。

出版総目録(墨字・点字)を無料でお送りします。

外国語・楽譜・立体コピー作図なども点訳しています。

お気軽にお問い合わせください。

TEL: 0774-56-3907

E-mail: liaison@kk.ij4u.or.jp

ホームページ: <http://liaison.ne.jp>

〒610-0121 城陽市寺田市ノ久保2-63

京都ライトハウスの挑戦 —皆さんと共に歩む施設作り—

制度変革に対する関係施設の取り組み (第2回)

既報第102号掲載以降、「障害者自立支援法案」を巡る状況は8月8日の国会解散、総選挙という類いまれな政治情勢の動きに翻弄され、結果的には参議院での審議未了で廃案・棚上げ状態となりました。この間、障害者団体や福祉関係者の反対の運動など、活発な動きがありましたが、ご承知の通り、総選挙での争点とはならず、まだまだ障害者の問題が国民的課題になるまでには道遠しの感を禁じ得ませんでした。

さて、京都ライトハウスでは新たな制度変革にとともなう影響が予測される事業所として7事業所のうち、直接的にはデイ・授産・訓練など4事業所に及ぶことが確実です。共通している点は、利用者負担の問題、利用施設体系の見直し、サービス形態の変更などです。

現在「京都ライトハウス事業運営協議会」を京都府視覚障害者協会との間で開催していますが、そこでもこうした利用される障害者の問題と施設が直面する課題の学習と、利用者や職員への情報提供の取り組みの必要性が強調されています。

例えば、京都ライトハウスの諸事業もこの制度が実施されればたちまち大きな影響を受けることが確実です。去る8月17日の事業運営協議会では、こうした課題について施設と団体が共通認識を共有するために、各事業所の影響予測と今後の対策についてアンケート結果の報告を交えた基本的な状況把握の学習を行いました。

アンケート結果から得られた課題の1つには、子供と大人のデイサービスがある訳ですが、施設運営の問題と併せて利用者負担、特に障害児を抱える若い保護者の経済的負担が利用者サービスに大きな影を落とすことを痛感しました。又、2つには生活訓練施設では、日中活動と夜間の利用が分離されることから今後の施設利用の見通しについて十分な検討が必要であることが新たな課題となりました。そして、制度変革への対応と総合施設機能の有効な活用に向けた検討が不可欠なことが浮き彫りになりました。3つには、せっかく

実現した「通所授産施設」でも、働くために通勤しているにもかかわらず新たな利用者負担が作業による工賃を上回りかねないという極めて憂慮すべき事態が潜んでいることが明らかにされました。制度や仕組みの壁を取り除くために設けられた厚生労働省、庶民の立場からみれば、厚生行政と労働行政との統合があればこそ、障害者の自立と社会的就労が進展するはずだと聞かされていたのに、このままではまたしても障害者の自立を目指す気持ちまでも阻んでしまう結果を招きかねません。私たちは、こうした事態を回避するために、働く場としての「通所授産施設」の事業所存続と引き続き障害者が生き生きと働き続けられる環境作りを目指して新たな課題を撥ね除けていかなければなりません。

こうしたそれぞれの現象に対しては、それぞれ私たちが総力を結集して「利用者サービスの向上と事業所の存続・発展」を基本に粘り強く取り組まなければなりません。更に、京都ライトハウスが視覚障害者を中心とする総合施設機能を持ち続けるためには、障害程度認定の問題も大きな課題です。

いよいよ10月には、国会の動きも本格化し、新たな省令を通じて今後の制度周知が図られるやに聞いています。おそらく、次号が発行されるころには、具体的な動きが始まり、課題が目の前に突き付けられているかと思います。私たち自らも今回の制度変更の動きを把握しながら利用者への機敏な情報提供と、その動きに翻弄されないようそれぞれが新しい情報を入力できるシステムを構築して立ち向かうことも大切なことではないかと考えています。学習会の開催、外部研修会への積極的な参加、そして利用者サービスの向上と事業所の存続・発展を願う「熱い取り組み」こそが必要な時期だと思っています。

次号104号では、新たな展開の様子についてできるだけ具体的な情報をお届けできればと思います。

消防設備・設計・施工・監理

その他消防用品販売



近畿報知機株式会社

京都市右京区嵯峨野嵯峨ノ段町1の17

電話 (075) 881-2738 番(代)

FAX (075) 881-8188 番

永年の信用・まごころのご奉仕

葬祭センター

公益社

本社/京都市中京区烏丸通三条下ル ☎075(221)4000

フリーダイヤル ☎0120-00-4200

◆ 葬儀式場 ◆

公益社北ライトホール(堀川黎明)京都市北区黎明通堀川東入 ☎(075)414-0420

公益社中央ライトホール(五条大和路)京都市東山区五条通大和路 ☎(075)551-5555

公益社南ライトホール(堀川八条)京都市南区堀川通八条下ル西側 ☎(075)662-0042

公益社西ライトホール(五条西大路)京都市右京区五条通西大路西入ル南側 ☎(075)322-0042

公益社宇治ライトホール(宇治横島)宇治市横島町(文教大学前) ☎(0774)20-0042

公益社滋賀ライトホール(大津)大津市朝日ヶ丘1丁目 ☎(077)523-0042

ライトハウス探訪 **こんなことしています!** 第28回

みんなが喜び、輪をひろげる船岡クラブ交流会

船岡クラブ交流会 代表 一谷 孝

1995年10月2日から、囲碁将棋・カラオケ・オセロ・なつメロ・民謡の5クラブが発足し、活動を始めました。これ以外に社交ダンスクラブが1987年度から活動を継続していました。1997年4月から、語り部・器楽・朗読の3クラブが、1999年4月から大正琴・詩吟・川柳・英会話の4クラブが、そして2004年4月からハーモニカ・太鼓の2クラブが発足して15クラブとなり、現在も活動を継続しています。これらのクラブ活動は年々参加者が増え、昨年3月末までにのべ29,676人にもなりました。

出席しているクラブ員の中に、自分が楽しんでいるクラブ以外のことが知りたい、少し上達してくるとその身に付けた技術を他人に披露したい、自分が障害で悩んだり苦しんだりしていることを他人にしゃべり、他人からも聞き交流するための場が欲しい、などの要望が強くなってきました。このような実態を踏まえ、クラブ運営委員会は1996年5月から毎月第4金曜日にクラブ交流会を発足させました。

クラブ交流会は各クラブの活動状況をお互いに知り合うこと、クラブ活動をする中で会員が精神面・技術面・人間関係などで獲得したことの交流、中途失明者の悩みや苦しみ・前向きに生きようとしていることなど、今生きている実態をお互いに話し合うことにより、励まし合うことを交流会の内容にしました。獲得した技術や力を他人の前で発表することで自信を得たり、次への励みになる人たちも多くいたようです。また、中途失明をして一歩も外出しなかった人たちが、家族や友人、ガイドヘルパーに連れられて交流会に参加し、交流会以外のクラブに参加することを約束して帰ったり、ライトハウスで生活訓練を受け家からライトハウスまで1人で歩行する力をつけて、交流会や他のクラブがあることを知り、参

加する人たちが増えてきました。これらの人たちは、多くの人たちと語る中で互いの理解と共感を味わい、明るさと前向きに生きようとする態度と行動力が顕著に表れてきます。

クラブ交流会の形式や内容は年々検討と改良を重ね、出来るだけ交流が深まり、外部からの刺激も受けられるようにさまざまな方法を考えてきました。2003年度は、2クラブセットで交流した後、施設・団体・学校・個人で活動なさっている人たちを呼んで特技の披露や活動の様子をお話ししていただきました。2004年度は1クラブのみが出て発表していただき、他のクラブの方々が参加する形をとり、後半は、広く社会で活動している方々に特技を見せてもらったり、聞かせてもらったりしました。2005年度もこの形を継続しています。

クラブ活動は、ライトハウスの音楽室や研修室3の部屋の中で活動するのみにとどまってはいません。大正琴クラブが京都市立高雄中学校の文化祭や読売テレビに出演したり、川柳クラブが会員の作品を新聞や雑誌に投句したり街に出て川柳をよんだり、民謡クラブのメンバーが大きな民謡大会に出演したり、社交ダンスクラブ員が京都をはじめ他府県の催しに参加したり、なつメロ・器楽クラブが他のクラブと合同でハンセン氏病療養所・邑久光明園や京視協支部集會に参加したり、ハーモニカクラブが京視協の支部と交流するなど、外部との交流を積極的に進めていることも見逃してはならない交流活動です。また、今年10月30日(日)にクラブの最大行事である「第3回船岡まつり2005」を行い、15クラブすべてがライトハウス4Fに集い交流発表会を行います。ライトハウス職員による模擬店とステージでのくじ引き抽選会も加わって、一層盛り上がることでしょう。

あい・らぶ・ふえあ

～来て見て体験! 見えない世界～

2006年 1/19(木)・20(金)・21(土)・22(日)

午前10時～午後6時(22日は午後5時まで)

大丸京都店 7階南側 特設会場

絵画コンテスト 様々な体験コーナー 盲導犬の話やゲームなど

お問い合わせは TEL 075-462-4400 FAX 075-462-4402



左から2人目が一谷さん



鳥居寮

「鳥居寮ボランティア交流会」実施

鳥居寮では、入所生の通院などの手引きや、パソコン・点字訓練でのサポート等、様々な形でボランティアの方々にご協力いただいております。現在、合計で40人近くの方が登録されており、それぞれの活動だけでなく、ミニ運動会やハイキング等、鳥居寮の行事にも積極的に参加していただいております。

従来は、それぞれの活動をお願いしているボランティアの方同士での交流の場はありましたが、今年度は新たに鳥居寮のボランティアの方々と一緒に集まり、視覚障害に関しての認識を深めたり、交流していただくことを目的に「鳥居寮ボランティア交流会」を定期的の実施することとなりました。

6月の交流会では、ADL(日常生活動作)訓練の体験を、8月の交流会では、視覚障害者の手引きについて学習していただきました。特にADL訓練の体験では、お茶の入れ方や金銭の弁別など、普段の何気ない動作にも「見えない・見えにくい」なりの工夫があることを実感していただけたのではないのでしょうか。また、日頃の活動の中で感じておられることなどを出し合っていくことで、ボランティアの方同士の交流の場になればとも考えております。

鳥居寮としましても、ボランティアの方々活動しやすい環境を整えていくために、ご意見やご要望をお聞きする有意義な時間となっています。

鳥居寮のボランティアの皆さん、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

情報ステーション

**点字図書館の全国大会、初めて京都で
情報ステーション主管で盛会に終わる**

10月12日から3日間、第31回全国情報提供施設京都大会が開催されました。30年以上にもなるのになぜか京都では初めてで、京都駅前東側のぱ・る・るプラザ京都の会場に約250人が参加し、厚労省や総務省、京都府と京都市、その他多くのご来賓の方々とともに式典を迎えました。また、4つの全体会と同じく4つの分科会では、視覚障害者の情報格差をはじめ、インターネット上の点字・録音図書データの全国連携サービス、これからの点字図書館のありかたなどとともに、個人情報の扱いや指定管理者制度など、様々な情報の問題について活発な討議を行い、大きな成果を得ることができました。

今回は初めて宿泊と切り離してスリムな大会をと心がけて出費を抑えたり、公共図書館のみなさまをはじめ多くの方々にも参加を呼びかけて開かれた大会にしようと取

り組み好評でしたが、主管施設としてはなかなか大変で、多くのボランティアの方々のご協力を得て無事終了することができました。ここに、ご支援いただきましたみなさまに厚く御礼申し上げます。

情報製作センター

**ドットテ일러製の世界地図と
資料編(世界の国々)の製作に着手
(2006年6月に出版)**

一昨年に製作したドットテ일러製*の日本地図(不足して追加製作した)が大好評で、世界地図もぜひ作ってほしいという多くの声が寄せられ、今回の企画となりました。

長年ご援助いただいているワコール労働組合様のご支援をいただき、それぞれ150セット製作して全国の盲学校と点字図書館にお配りする予定です。世界地図には大雑把な情報しか入りませんので、資料編で世界の国々の地図や基本情報を紹介しようと考えています。どうぞお楽しみに!

*布地に隆起印刷と点字大のアルミ粒を貼り付けたもの

**衆議院選で初の公報全訳版が出版される!
一日盲委選挙情報支援プロジェクト**

国政選挙等における選挙公報の点字全訳版は、視覚障害者の知る権利・選挙権の行使に必要なものであり長年の要望でした。昨年の参院選で初の比例の全訳版をプロジェクト(日盲社協点字出版部会が製作の担い手となり)で発行し、大きな反響がありました(18府県の選管から9,265部の注文)。

今回の衆院選では、全国11ブロックの比例、国民審査、小選挙区の各公報の全訳版を発行しようとプロジェクトで取り組みました。

結果は、過半数の24道府県から比例21,655部、国民審査14,705部、小選挙区も7県から注文をいただき、参院選の数をはるかに上回る大きな流れを作り出しました。

課題としては、①急な解散だったこともあり、案内が遅くなって注文を逃したケース ②超短期間で作業的には結構厳しかったこと ③今回以上に増えたときの体制整備 ④スムーズな製作の流れの確立など、いくつかが明らかになりました。

この大きな流れをしっかりと受けとめ、当製作センターも中心の一角を担う施設として関わっていかねばならないと思います。

船岡寮

船岡寮ピヤガーデン

9月3日に、船岡寮の食堂でピヤガーデン風夕食が開かれました。

今年もハムスターズの皆様が来て下さり、この日を利用者の皆さんは、とても楽しみにしておられました。

(6) 2005年(平成17年)10月21日

京都ライトハウス通信 No.103

18時より宮川寮長の挨拶、そして乾杯の後ハムスターズの演奏が始まりました。

とってもすばらしい生演奏の中、利用者の皆さんは焼おにぎりやなす田楽、から揚げ、はも落しなどおいしく食べておられました。そして、追加のおつまみ等の注文もたくさんの方がされていました。

音楽を聴いているとまるで、南国にいるような気分になったり、演奏に合わせて口ずさんだり、また、手拍子したりと、あっという間に時間が過ぎてしまいました。そして、坂本九さんの歌などのプログラムが終了したあともアンコールが止まず、ベンチャーズを演奏して下さいました。

利用者の皆さん、「また、来て下さい。」「どうもありがとうございました。」など、お礼の言葉を送っておられました。

ハムスターズの演奏を聴くのに夢中だった方々もたくさんおられ、演奏が終了したあとも多くの方が食堂で飲物やおつまみの追加注文をしておられました。

ハムスターズの皆さん、どうもありがとうございました。また、来年も来ていただきたいと願っています。

F S トモニー

司法修習生の研修受け入れ

将来、福祉関係の職場で働いたり、学校教員になるための体験実習として大学生を年間通じて受け入れています。今年度は新たに弁護士など法曹界で活躍される司法修習生の社会実習の依頼を京都弁護士会から受け、3人の方が3日間F S トモニーの現場で研修に当たられました。

きものをほどいて洗濯した古布にアイロンをかけたり、不要になった点字用紙で紙袋を製作する仕事を一緒にしたり、喫茶きらきらで手伝ったり、利用者のみなさんと楽しくコミュニケーションをとりながら作業を進められていました。

また、視覚障害者の就労についての実態、思いや願いを知ってもらう懇談をおこないました。何度も障害者職業相談室に足を運ぶがなかなか思うような職種がなく、働く意欲を持ち続けること自体難しくなるような心境であったこと。はり・灸の職種に視覚障害以外の方が就職するようになり、免許を持っていても就職に結びつきにくくなったことなどが話され、職業選択の自由、障害者雇用促進法の前進があるといいながらも、本当に就労に結びつくことが厳しいという現実が話されました。なぜ、毎日休まずにF S トモニーに来られるのでしょうかという質問に対して、「ここに来ると元気をもらう」「いろんな情報をもらえる」「今までは、できないと評価されていたが、ここに来るとこんなことができる、あんなことができる引き出してもらえる」「同じ視覚障害者の役に立っているという気持ちになる」などなど、意欲的に仕事に取り組んでおられる利用者の答えに修習生の方も熱心に耳を傾けられていました。

来られる前は福祉の現実をわかってない、頭の中だけでのイメージで捉えていたという感想でしたが、実習終了後

には、あっという間の3日間で体験談などが具体的に聞けて良かったと話され、今回の体験が今後の弁護士活動などにぜひ活かされることを願っています。

らくらく

「らくらく農園」は豊作の夏でした。

らくらくではこの春、ライトパークの一隅をお借りしてミニ農園作りに励みました。昨年も利用者の皆さんと向日葵や朝顔、パンジーなどを咲かせてはいましたが、今年は皆で考えて野菜や果物を植えることになりました。園芸療法の先生にも協力してもらい、庭に直接ではなく園芸用プランターを使用してのものでしたが、肥料、ネットなど道具も準備して土いじりからトライしました。

植えた品種は様々で、野菜苗はトマト・キュウリ・ナス・オクラ・スイカ、ハーブはバジル・カモミール・ラベンダー・ミント、花はダリア・グラジオラス・オーシャンブルーなどなど。2日ばかりで8つのプランターが完成し、皆さん大満足の笑顔でした。



その甲斐あって、収穫期の夏場を迎えミニ農園は連日花や実があふれんばかりに登場して、盛夏の毎日を充実させてくれました。ナスやキュウリは実のなりでは一番しっかりした形をつけてくれました。スイカも写真のように可愛くまると熟してくれて、それぞれが月々恒例にしているクッキング

プログラムを飾ってくれました。また、引き続き挑戦していきたいと思っています。「きらきら」のスタッフはじめ、連日水やりや追肥などで応援していただいた方々もありがとうございました。

あいあい教室

第27回視覚障害乳幼児研究大会を京都で開催

8月20日(土)、京都府・京都市教育委員会の後援を得て京都で大会を開催しました。これはあいあい教室が事務局をしている研究会で、毎年夏に全国大会を行っているのですが、今年は新しくなったライトハウスの見学会も兼ねて京都ライトハウスが会場となりました。午前の講演は「医療における視覚障害児への対応」と題し、大阪府立母子保健総合医療センターの初川嘉一先生にお話をいただきました。医療的な側面だけでなく、子どもの成長に合わせて、福祉サービス、学校の選択、親の会などの情報提供を

されているとのことでした。午後は、「視覚に弱さのある乳幼児の家族支援」をテーマにシンポジウムを行いました。参加者は北は秋田、南は沖縄までの盲学校・福祉・医療関係者等132人でした。

産まれてきた赤ちゃんに視力の障害がわかった時、育て方に戸惑った時、子どもの成長のためにどうすればよいか悩んだ時などなど、どの機関に行っても家族が安心して



相談することが出来、また、希望や要望に応じて様々な情報を的確に提供出来る場所等、家族支援を行うシステムづくりの

ため、医療・福祉・療育・教育機関の連携の重要性を考える機会となりました。

お知らせ

■「八橋検校を偲ぶ会」のご案内

本年は、箏曲の基礎を確立した偉大な全盲の先達者である、八橋検校の没後320年祭に当たります。

1614年に生まれた検校は、若くして平家琵琶を極め、26歳の若さで検校の位につきましたが、尚も久留米の地で筑紫箏を学ばれ、京都に戻って、今日まで伝わる箏曲の基礎を確立されました。

以来、検校の後に続く多くの先人達の活躍により、箏、三絃がゆるぎない日本の伝統音楽として守り伝えられて来たことに、私は言葉に表せない程の敬意と感謝を捧げますと共に、長年この道を学びながら、検校の築かれた宝の山を知り尽くし得ない不甲斐なさや無念さをひしひしと感じざるを得ません。

検校の命日に当たる6月12日には、正吟会のみなさんと一緒に感謝の墓参をさせていただきましたが、この度ライトハウス職員のみなさまのご協力も賜り、私なりのささやかな検校に対する報恩の印として、心ばかりの調べを捧たいと存じます。

主催：中澤 眞佐

協賛：京都ライトハウス

曲目：「八橋」、「六段の調」、「四季の曲」、「袖の露」他

日時：12月3日(土) 14時開演

会場：ライトハウス 4階 ホール <来聴歓迎>

■年末年始の休館について

年末年始の休館は、次の通りとさせていただきます。貸し会場等でご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願いいたします。

各事業所の年末・年始の休業日につきましては別途広報いたします。

	昼 (9時~17時)	夜 (17時以降)
12月28日	大掃除	休館
12月29日~ 1月3日	休館	休館
1月4日	日直	宿直

おれい

■京都橋ライオンズクラブ様

8月7日(日)に「チャリティコンサート 盛夏のソプラノ&ピアノコンサート」をライトハウスホールにて開催され、150人近い視覚障害者をご招待いただきました。

新京都ライトハウス開設に当たって同クラブ様からご寄贈いただいたスタインウェイ製ピアノのお披露目も含めて開催いただいたもので、昨年の「命輝け京都第九コンサート」でもご出演された高島依子さんのソプラノと、



宮崎友香子さんと松本恵理さんのピアノで素晴らしいひとときを多数の方が満喫されました。大変ありがとうございました。

■梶 寿美子様

8月13日(土)、ひと・まち交流館において「いんでご大文字」一箏と一緒に平和を語り合おう一を開催され、今回も多額のご寄付を頂戴しました。運営資金として活用させていただきます。

大変ありがとうございました。

ご寄付ご寄贈ありがとうございます!

次の通り、数々のご芳志をいただきました。厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

(50音順・敬称略)

2005年7月1日~2005年9月30日

寄付金 89件 2,683,492円

物品寄付・ご奉仕 174件

【寄付金】

浅山邦夫、池上和子、池側佳澄、井上高行、岩山達熙、永和化成工業、おおさかや、大八木明、梶寿美子、片山美勝、桂民生児童委員協議会、加藤博史、鹿野敬男、北福祉事務所、

京都から竹民謡会、京都視覚障害者ゴルフアース協会、京都橋ライオンズクラブ、京都福祉専門学校、京都弁護士会、劇団京芸、国際ソロプチミスト京都-北山、小寺智、佐野眼科診療所佐野貴之、下京福祉事務所、種智院大学、情報ステーション募金箱、須藤清光、隅田眼科医院隅田義夫、聖母学院中学高等学校吹奏楽部、田中武、崔春夫、塚本やすこクリニック、土屋医院、堤明子、ディリパ京都、同志社D・M・C、独立行政法人雇用・能力開発機構京都センター京都職業能力開発促進センター介護サービス科、中居敏江、中江睦子、中野眼科四条河原町診療所エースコンタクト、中橋彌光、長谷川きよ子、花園大学社会福祉学科、花ノ坊町東部町内会、浜川妙子、FORYOU本店、やすろうチャリティーゴルフ同好会、山内昭三、山内知子、山本照夫、弓削眼科診療所、吉田總一郎、立命館大学、わかさ生活、匿名(28件)

【物品寄付・ご奉仕】

アイ・ティ・フロンティア、青木玲子、青山弘、秋永沙千好、浅田八重子、あすなる会、東絢子、池田喜美栄、池西照子、伊佐迪子、石田英世、石田正美、磯部治、一谷孝、伊藤治子、稲谷奈緒美、井上高行、井上ナツ子、今納正子、岩瀬正美、ウサギヤ、内田務、大川勝三、大杉淳子、大谷八重子、岡林セイ、岡本タミ子、岡本ツヤ子、岡本久栄、奥村久子、奥山晴生、小野富夫、梶原清一、片山典子、勝山和男、勝山君子、加藤純、加藤紀江、鎌谷成美、上口敬子、から竹師友会、川坂真也、河瀬須恵、北秋歌子、北垣せつ子、北村貞人、北村宗昭、木下幸子、木村芳子、京都産業大学新社会ボランティアサークル、京都市立築只小学校、クサカ自動車、蔵本智子、公益社、小中春三、小中路子、小山靖子、サークルにし、佐川せつ子、佐古信子、佐々江温子、佐々木脩、鮫島克子、視覚障害者支援総合センター、塩見章子、柴田慶子、清水千恵子、清水日出夫、朱常分店、白坂澄夫、白島庸、鍼灸マッサージ師会上京支部、新谷洋子、鈴木さほ、関房子、惣塚多恵子、高野嘉子、高橋和美、高橋信吾、高橋正夫、高山アサエ、多田敦子、田中武、田中みゆき、棚橋きよ子、谷川正雄、谷口敏、塚田正子、つくしの会、辻謙一、てんやく絵本ふれあい文庫、点友会、同志社D・M・C、富家美代子、富奥ケイ子、中江利彦、中島田鶴、中島美津子、中田英子、中村晴美、西岡康博、西久保京子、西野美代子、西村ゆり、日本たばこ産業京都支店、日本盲人福祉委員会、日本身体障害者団体連合会、野間赳夫、橋本敏夫、畑勇子、服部テル子、林友美、林野正子、馬場康子、平河義昭、廣瀬武、廣田幸稔、福井瑛子、福井久男、福島洋子、福見久代、藤井綾子、藤田慧子、藤山和子、ブラザー製版印刷工業、古橋マスエ、北條瀧枝、前田たえ子、前田不二子、前中知栄、松永末秋、松本すみ子、美内輝子、蓑毛妙子、三村敏子、宮崎裕士、村田雅彦、本永友彦、森初子、森川蓄音器店、八木睦子、柳瀬京子、山下祐嘉里、山田勇、山田弘子、山中良三、山畑文雄、山本幾太郎、山本巖、山本紗英子、山本早苗、山本純、湯浅昭次、吉田善次、吉田米男、朗読グループあいあい、渡辺時寿、渡辺祐子、渡部隆三、匿名(2件)

京都ライトハウス後援会より

次の通り、後援会費と運営資金寄付金を納入いただきました。会員の皆様のお名前を掲げ、厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。(50音順・敬称略)

2005年7月1日～2005年9月30日

後援会費 143件 286,000円
運営資金寄付金 81件 497,502円

愛きもの、明是栄蔵、阿弥陀寺、荒木靖子、生谷貫之助、池田佳郎、井坂外喜夫、井澤慶子、石井正夫、石田貞江、稲葉公雄、井上しのぶ、今井茂野、今宿晋作、入江渥子、岩佐亜紀、上田敬治、上野伍一、上野盛夫、上村幸代、梅田耳鼻咽喉科医院駒崎陽子、海老根敦子、襟川千春、大島久子、大田龍二、大西正広、大野あい、大野隆子、大橋由昌、大村昭夫、大村悦子、岡島治子、沖田恵美子、梶寿美子、梶宏、片岡聡、片岡晴夫、加藤継夫、金沢蓮子、上口敬子、上村邦夫、亀井陽子、賀茂病院理事長藤澤明生、河合恭子、川上リツエ、川田よしみ、川本千春、河原畑昇、北浦晃、北川隆子、北川文子、北村貴子、木下義次、木村晴子、京都岩倉幡枝郵便局、清本隆行、樺田レイ子、グループホーム寛寿庵代表井上綾子、小嶋健作、小島温、木の芽句会、斉藤修三、酒元人四、佐藤治子、佐藤令子、篠田泰明、篠原美代、島田喜代子、清水医院理事長清水忠雄、下奥重望、下重貞一、スウィング、杉浦洋子、鈴木清規、平重忠、高田義雄、高山齒科診療所高山康男、竹田嘉子、武田総合病院泌尿器科東義人、田中佐恵子、田中次郎、田中洋子、谷岡賢一、谷口幾夫、辻登、津田信也、堤恵美子、津元貞光、津元雅海、寺澤武雄、中川正敏、南條康子、西川かをり、西川千草、西小路一葉、西村欣吾、西村貞子、西村隆宏、西村好子、野々山智恵子、野村順栄、服部博史、林喜一郎、原田勉、春田泰文、馬場康子、人見光和、平井豊、平川純、平田代根子、広瀬滋子、廣瀬千代ノ、広瀬予志子、福島洋子、洲田京、文堂直治、細見文博、堀田陽子、前中知栄、松岡良枝、松本晴子、松本保男、真鍋真由美、三上芳子、三木マスコ、水谷俊夫、水野歯科医院水野雅則、溝川正、三村啓子、宮崎重道、宮本源五、宮本政和・美千代、村上直子、村田敏子、室町病院西村喜美、元井シズエ、本村医院本村俊二、森藤哲良、安井ひでこ、安光あや、山内正史、山口光昭、山崎敬以子、山下恵利子、山原瑞穂、山本文美、山本雅子、山本典子、結城ゆかり、吉岡隆則、吉岡正子、吉澤透、吉田華子、吉田博之、吉田米男、吉安愛子、匿名(1件)

編集後記

暑さ寒さも彼岸まで、と言いますが今年は彼岸が来ても暑くて、なかなか秋が来たと思いませんでした。編集後記を書いた9月末には、最高気温が30度を割る日ができて、長い夏も終わりになったかとい息つきました。

(M)